



大正天皇の大葬儀執行され、聖上
陛下御誄を奏し給ふ、御親子の情君臣
の義、是れ皆我國民性を代表するもの。
今亦新らたに御在世の御慈徳を想起し
更に悲しみを増催す、希くは城北淺川
のほとり聖靈長へに安らげく、我が國
と民草の爲に、神慮を降し給はらむこ
とを。

△ △ △
米大統領、海軍建艦協定を提議す、
二國、佛伊之を排斥す、佛の不參加理
由は理論的、曰く空陸兩軍備を協定せ
し、且つ軍縮の目的を達せず、夫れは國際
聯盟の權限なりと、伊も亦之に追加し
て伊國の建艦計畫遠大に非ずと言ひ、
惠まれざる地理的の關係上軍縮は危險
を感すと言ふ、二箇國の不參加、米大
統領の希望に反するや遠し。

軍縮提議の動機、假令來るべき大統

統の内意は、前回に決定された主力艦
制限の國辱的比率に在る、米國の高飛
車的行動も慎むが可い。

伊佛二國の不參加に依つて協定の前
述を疑ふ、蓋し英國の制海權は佛伊に
依つて牽制を受け、此二國を除外した
協定は英國の脅威を受くる因と爲る、
併し五箇國が協定した大膽な前例に依
つて三國間だけでも協定せよ、夫れが

領選舉に備へ、共和黨人氣挽回策に在
りとするも、事夫れ自身は欣然歡迎す
べきこと、佛伊不參加の理由論理的な
りとしても、國際聯盟の決議を觀るの
は百年河清を待つの類、去れ迄に要す
る補助艦建造費を制限せむとするのが

建艦協定の本旨、併しながら佛伊不參
加の内意は、前回に決定された主力艦
制限の國辱的比率に在る、米國の高飛
車的行動も慎むが可い。

假令三國協定に迄漕ぎ附けるにして
も、主力艦の比率を補助艦に迄採用す

るが可い。

るのは不可、我が國之を宣言し、大統領が一定不動の提案を爲すの意圖を有せざることを知るは亦帝國政府の欣幸とする所なりと、附加し先手を打つて豫防したこととは、帝國外交近來になき巧妙、併し日本は支那では無い、文章に巧であつて實效を失はざらむことを

期せ、現有艦か最小限度であろうと無

米國上院が海軍補充案を決議したり、移民を制限したりしてゐる。英國のシ

ンガボール築城、等々と何れも皆反平和的行爲、協定前には等の行爲を撤回せよ、夫のが協定に依る效果以上の平

和が取得した権利々益の返還を迫つてゐる、空手で英國の傳統的威壓政策に反抗してゐる、遂には英國の出兵を中止せしむるに至つた事。茲に至れるそも何事を語るのであらう、軍備も亦頼むに足らない、此事實は對岸の火災視すべきでない、我國軍備擴張論者的心すべき點。

世界平和の協調に就かむとするの秋とする所なりと、附加し先手を打つて豫防したこととは、帝國外交近來になき巧妙、併し日本は支那では無い、文章に巧であつて實效を失はざらむことを

期せ、現有艦か最小限度であろうと無

かろうとを問はず、國防上切實なるものを要求するが可い。

英國亦地理的關係やら交通線の廣大に決定するものゝやうである、併しながら隣國支那を見よ、國內は南北政府豫防線を張る、我も亦總領事主義に反対するであろう、結局得る所なき會合に終らざるかを疑ふ、併しながら世界

軍備と言はゞ、國家の優劣を最終的に決定するものゝやうである、併しながら南北政府豫防線を張る、我も亦總領事主義に反対するであろう、結局得る所なき會合に終らざるかを疑ふ、併しながら世界

三黨首の申合せ、克く陣笠を戒飭して發言禁止、議會は春日遅々として無風帶と化す、從來聲明した政策に反した豫算でも無修正通過、之が昭和の新政に於ける時局安定の善政と言ふ、政

策本位も國家本位もあつたものに非ず議員自ら議會を無視す、之が我國立憲

政治の現状。

▽ △

豫算は衆議院を通過し、重要な法案の成否判明せむとする秋、若槻首相の所謂「深甚なる考慮」の謎が解けた。曰く憲政會本黨の聯盟。

欺かれたのは政友會、内閣不信任案の提出に握携し、委員長の分配を相談して、政本握携が完成したと思ったのが間違、機密費問題があつたにしても、三黨解散回避の懼があつたにしても、三黨首の申合せに加入したのが無策の致す所、自業自得の致す所と言ふべく、今日の憲本握携を助勢せしめた罪の一半を回忌することは出来ない。不淨の現政界軍人肌の一本調子では老猶床次にある、小黨分立當然の弊とは言ひなが

つて或は大勢せむ。
政界のバチルス政友本黨、憲本の聯盟は當然事と言ふであろう、如何に、謂「深甚なる考慮」の謎が解けた。曰く憲政會本黨の聯盟。

室に對する敬度の念に於て共に天を戴かすと言つて、現内閣不信任案を提出したでは無いか、國民皆之を知る、此前言を捨てゝ聯盟すとは、政治道德も節操もあつたもので無い。

固より是等を本黨に求むるのが無理かも知れない、曾ては政策本位を標榜して憲政會と妥協し、政治の公明を口實に政友會と握つた醜惡之を證明して、

ら、小數專制の變則政治、議會政治を破壊するもの唾棄すべし。

一 広次總裁、新帝に賜りたる朝見式の勅語を奉體し、相携へて國策を樹立すと言ふ、維新の宏謀を顯揚すべき勅語は、卿等の爲す暗黒政治を排して立憲窮地を脱せむとする手段にしても、公勅語を行ふに在り、間違てはならぬ、

政治の公明、時局安定など、卿等の言辭は國民を愚弄するもの、其の醜事は來るべき總選舉に於て所罰を受けむ、否な再び起つ能はざらしむるのが選舉權を有する國民の責任。

醜き政權慾に盲目な憲政會、窮餘の第策を擇出しても、卿等の組織する内閣は既に國民に飽かれてゐるを知らずや、生きむが爲に妥協して振出した政策の實行も不可能、今は既に振出す

べき何物も無い、聯盟に依つて餘命を
纏いても、不自然の生活は總選舉後必
然的に生ずる兩黨の喧嘩に依つて終焉
するであろう、之も亦解散回避政權固
持の懲罰、政友會の一の舞を踏む必定。

聯盟に依つて共同政務調査會を設置
すと傳ふ、國家の政治を議するには公
的機關議會がある筈、公開の議會に公
然意見を發表せずして、陰謀是れ事と
し兩黨の共同私會に於て私議せむとす

るが、公開の議會に公
然意見を發表せずして、陰謀是れ事と
し兩黨の共同私會に於て私議せむとす
るや遠し、此處で政治の暗點取引を
誘致するに至る、今にして設置計畫を
放棄するのが、せめて罪業の輕減。

▽ △

憲政會の配下と爲つた東京市會、瓦
までを公開せよと迫る、床次總裁では

憲政會の配下と爲つた東京市會、瓦

斯會社との報償契約改定案で紛糾す、
會社の利益配當制限を撤廃するに代へ
市は十五六萬圓の增收を得むとするも
の餘り大問題では無い、併しながら配
當制限の廢止は、料金の値上げを招來
して市民の負擔は増加することゝ爲る

は無い、之を實行せしめむとする東京
市民、市政に進歩したりと言ふべきか
帝國議會も此調子で行きたい。夫れば
東京市民のみならず帝國民の要求、三
木氏その苦い經驗を憲政會と本黨に傳
言せよ。

▽ △

の補償を必要とす、此位のこととは市理
事者に判つてゐる筈、市吏員を誠首し
ても、會社に利益を與へるのが善政と
考へたのでもあるまい、理事者は提出
したが否決に即決した、近時の痛快事。
憲政系の革新會、三木御大に指揮さ
れて横暴を實かむとしても市民は之を
許さなかつた、事件發生の根源と經過
を圖り、兩市を更に密着せしむるのが
港灣だつて横濱の向を張つて擴築す
るらしい、更に進むで交通機關の改善
肝要。

る必要は無い、東京築港と京濱運河開設は矛盾した計畫、京濱運河を開設して水上聯絡を圖れば足る、共通物は共同使用へ、何事も市民の利益の爲に企畫せよ、不自然に膨脹した大都市の積極的救濟策否な進展策、慥に賢策、吾人双手を擧げて之に賛す。



地方廳土木部制度の設置、其の前提であるか地方技師の交迭頻々、併しながら制度設置の發表無く、隨分地方技師を待たしてゐる、土木部を設置しても善良な地方技師を得なければ、土木行政の實は舉がらぬ、交迭に依つて多少の新味は加はつたが、老猾低能の者が尙残つてゐる。

地方土木行政と地方政黨との關係、有るべからざる事であるが存在するのは事實、隨分面倒なものもある、純技術者では勤まらぬ、併しながら技術官の事務官化は一層面倒、茲に土木部設置の反対論が起る所以、併しながら要求に依つて折角樹てられた計畫、成績舉がらずば廢止するまでのことで、一度やつて見るが可い。

△ ▽

内務省土木局、自動車道法案を提出せむとす、既存一般道路では自動車の發達を促進することが出來ない、寧ろ萬能に心醉して自動車に無自覺な鐵道省が、今頃に飛出して彼是言ふ幕では無い、鐵道敷設法案のやうなケチを附けらるゝ法案を出すやうな内務では無い、此の道路を乗合自動車が通行しやうと、一般自動車が通行しやうとは更に間はない、此のことを知らずにか、自動車に無自覺な鐵道省、權限爭議を持ち込む、曰く鐵道に影響する陸運は當省の權限であると。

陸運の一局部に過ぎない國鐵を主管する鐵道省に、陸運行政の全部の權限があると心得ては間違、一般道路は既に内務の權限に在るでは無いか、鐵道通行錢を徵收しても、自動車専用道路を築造せしむるのが刻下の急務と認めに依る、時運の要求を適合した立法法を引き下がれ鐵道省、